

ホームビジットの報告

7月30日（日）、本年度のホームビジットを受けて下さいましたのは、前田稔会長でした。前田会長から写真を預かりましたので、御報告を致します。留学生の卓さんと、同行の4年の佐藤碧依さんです。

世界遺産指定の綾町を訪問し、人々がどのような生活しているか、スローライフ、スローフード、茶道、照葉樹の意味、その他生活の在り方に関する見聞を広めていただこうと考えています。

年森豊治 亭 茶道の研修

日本人の心配り、季節への思い、自然への対応の在り方、お茶を通じた人間同士の通い合いを茶室にて実習



年森豊治さんのお話を聞いて、自分の行動を見直そうと思いました。茶道の作法の中で「招く側の心配り、そして招かれた側がその心配りに気付く心配りの両方で成り立っている」とおっしゃっていて、ハッとしました。

自分が相手の配慮を酌み取る心構えをする、というのは今まで意識したことがなく、「してもらって当たり前」の受け身の姿勢になっていたと気づきました。自力では考えつかなかったと思うので、今回教えていただけ良かったです。

濱田倫紀（みちのり） 亭 綾わくわくファーム

スローライフ、スローフード、人のつながり、健康づくり、食育、健康食品の話をファームレストラン、厨房にて講話



濱田倫紀さんは、とても生き生きとお話ししてくれたのが印象に残っています。お話を聞いて溢れんばかりの行動力にとっても驚き、そしてすごく羨ましく感じました。自分がやりたいからやる、というのは難しいことだと思っていたからです。

しかし、濱田さんは自分の思うままに行動していて、そのための労力は惜しまないところが私との違いでした。

今まで気がつかないうちに自分で自分を否定してしまっていて、もったいないことをしてしまったと後悔しています。今後はこんなことがないよう、「やれば出来る」の精神でいこうと決めました。

【感想】

年森さんと濱田さん、そして前田さんとお話ししていてすごく印象的だったのが、皆さん一人ひとりが自身の信念を貫いていることでした。

今の私はまだ目先のことしか考えられていないのですが、いずれお三方のようになりたいと思いました。

今回は本当にありがとうございました。

宮崎大学 教育文化学部 人間社会課程 言語文化コース

4年 佐藤 碧依

学部留学生（1～2年間の留学）に、半日程度のホームビジットに御協力いただける会員を募っています。

宮崎の文化や食習慣、習わしにふれ、宮崎のよさ（ひなた）を体験して帰国してもらいたいと思います。

詳細は木犀会事務局までお願いします。

木犀会事務局 0985-25-2051

事務局長 熊本 新一